



2016 年度
大学生 国際協力
フィールドスタディプログラム
募集要項（案）

2016 年 9 月

独立行政法人 国際協力機構
国内事業部 市民参加推進課

運営事務局

アイ・シー・ネット株式会社
さいたま市中央区新都心 11-2
明治安田生命ビル 27 階

募集要項

1. プログラムのねらい

日本に住む我々の生活は、ITなど技術の発達、新興国の市場の拡大、経済の自由化等によって、急速にグローバル化しています。例えば食卓に乗る食事の約6割は輸入食材で賄われており、日本企業の30%以上が海外進出しています。グローバル化した世界では、外国の魅力的な文化にインターネットを通して簡単に触れることができます。反面、海の方こうで発生した危険が、我々の身近に突然降りかかってくることもあり得ます。このようなグローバル化は今後も進むことが予測され、我々は、住んでいる地域に関係なく、否応なくこの環境の中で生きていくことを迫られています。

日本政府は、2012年6月「グローバル人材育成戦略」を作成し、「主体的に物事を考え、多様なバックグラウンドを持つ同僚、取引先、顧客等に自分の考えを分かりやすく伝え、文化的・歴史的なバックグラウンドに由来する価値観や特性の差異を乗り越えて、相手の立場に立って互いを理解し、更にはそうした差異をそれぞれの強みを引き出して活用し、相乗効果を生み出して、新しい価値を生み出すことができる（グローバル）人材」を育成するべきとたっています。これからも生存と安全が保持された真の意味で豊かな生活を続けていくために、これからの経済・社会はこのような人材を必要としているのです。

JICAは、世界150ヶ国以上で政府開発援助を実施しています。その活動は、「人間の安全保障」の考え方にに基づき、ハード（建物や機材）を供与するのみではなく、援助を受ける人々自らが、国際協力プロジェクトに参加することによって、尊厳や自信を取り戻し、問題に取り組む能力を身に付け、問題を生み出していた従来の仕組みを変えていくことを重視しています。

このようなJICA事業の現場は、人々の多様な価値観を尊重し、受け入れられ、使い続けられる新たな技術や仕組みと一緒に作り上げていく、まさに上述の「グローバル人材」能力がフルに必要とされる場です。この現場体験を通して、国際協力への一步を踏み出すきっかけづくりになったり、参加者に将来のキャリアや生活に役立つ経験をして頂きたいと考えております。

なお、本プログラムは独立行政法人国際協力機構が主催していますが、アイ・シー・ネット株式会社が運営事務局業務を受託しています。募集に関する問い合わせ・申し込み先はアイ・シー・ネット株式会社になります。

<人間の安全保障>

『人間の生にとってかけがえのない中枢部分を守り、すべての人の自由と可能性を実現すること。』
今日、国家による安全保障のみにより個々の人間の安全を守ることは困難になっています。紛争、地球温暖化、武器や薬物の拡散、感染症の拡大、これらの問題は国家の枠組みを容易に超え、人々の生命や生活を脅かしています。こうした現象から、ひとりひとりのいのちの尊厳や生活を守るために必要と考えられるのが「人間の安全保障」という概念です。中心に捉えるのは「人間」であり、人々が着実に力をつけ自立することを重視する考え方です。

(JICA ウェブサイト <http://www.jica.go.jp/about/direction/security/summary.html>)

2. 大学生国際協フィールド・スタディ・プログラムの概要

(1) 目的


本プログラムは、大学生の皆さんが、国際協力の様々な「現場」を体験すると共に、国際協力に携わる幅広い関係者に直接会い意見交換出来る機会、さらに、開発協力について多くの知見・経験を有する指導者から、各事業の関係性等、理解促進のための指導・アドバイスを受ける機会を提供します。この経験を通して、参加者の皆さんが、JICA が行う国際協力活動の理念を含め、開発途上国・国際協力の現状に対する多面的な理解をし、グローバルな視点と問題発見・解決能力を身につけるとともに、皆さんそれぞれが国際協力に対して、市民参加活動や国際協力業界への就職等、様々な形で携わっていくことを視野に入れつつ、グローバル人材として将来活躍できるよう支援することを目的としています。

(2) プログラム内容


ア. 手法（アプローチ）

- 視察体験型の内容に加え、参加者はプログラムリーダー（大学教員経験者等）の教育的（学術的）観点からのアドバイスを受けつつ、フィールド・スタディ演習を行い、成果品としてレポートを作成します。
- 事前学習および事前研修会を通して、参加者は派遣先国の開発課題とその改善策について自分なりの仮説を立て、現地プログラム（フィールド・スタディ）活動計画を立案します。
- 現地プログラムでは、派遣国の代表的な国際協力プロジェクト訪問、プロジェクトの受益者コミュニティ（プロジェクト村）等での滞在を通して、自らの仮説に関する情報収集と考察を行います。
- 帰国後、プログラム・リーダーの助言を得て参加者はレポートを作成します。

※イラストはあくまでイメージですので、ご注意ください。




この国では、小さな子どもが沢山亡くなっているよね。どうしてかな？



ちょっと調べてみよう

事前研修会

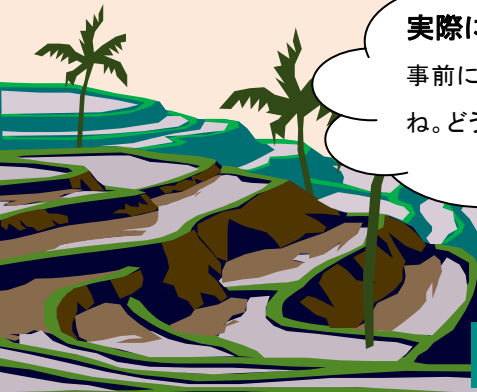


子どもが亡くなるのは、栄養不足が原因みたい。家族の収入が少なくて食べ物が買えないのが問題だと思う。収入を増やす方法を考えてみよう、きっと改善するはず。(仮説)

↓↓↓

それでいいのか、現地で調べてみよう！


現地プログラム



実際に来てみると
事前に調べて、考えたのと少し違うね。どうしてだろう？



事後研修会



新しい面に気付き、もう一度調べ、考えました。結果、自分はこういう意見です。

イ. スケジュール概要

訪問国	カンボジア、ラオス（いずれか1か国）
事前研修会（予定）	<p>■日程：2016年12月16日（金）～12月18日（日） 2泊3日（予定）</p> <p>■場所：JICA 東京国際センター（予定）</p> <p>■内容： 派遣国概要、JICA 事業概要、フィールドインタビューの基礎、現地活動計画作成、渡航オリエンテーション等</p>
現地プログラム（予定）	<p>■日程：2017年2月19日（日）～3月5日（日）（全15日間）（*1）</p> <p>■活動内容： 現地 JICA 事務所訪問、国際協力プロジェクト視察、青年海外協力隊の活動現場視察、NGO 訪問、プロジェクト現場におけるフィールド調査、調査結果プレゼンテーション(*2)</p>
事後研修会（予定）	<p>■日時：2017年3月14日（火）～16日（木） 2泊3日</p> <p>■場所：JICA 東京国際センター（予定）</p> <p>■内容：振り返り、レポート発表</p>
自己学習、レポート作成	<p>■時期：現地プログラム前後の一時期</p> <p>■方法：レポート作成、プログラム・リーダー等より関連資料を送付</p>

（*1）現地日程は、相手国側の受入機関の都合や現地の事情等により若干の変更が生じる可能性があります。

（*2）具体的な視察内容行程は、選考結果通知以降にご連絡します。

3. 応募資格・条件等

- (1) 日本に在住し、日本国籍を有する満18歳以上の方（2016年11月6日現在）
- (2) 応募時に本邦大学（学校教育法に定める）の学部¹に在籍中の方（修士課程等の方は応募対象外）
- (3) 推薦書を指導教官等から取得した方
- (4) 本事業の趣旨・目的を十分理解の上、事業運営に協力いただける方。
- (5) 健康上支障がなく、開発途上国における現地プログラムの全日程および、事前事後研修のすべてに参加できる方（全日程の参加が応募条件ですので、授業等ある場合はご自身で調整ください）
- (6) プログラム・リーダー等からの指導や、自己学習、レポート作成に真摯に対応できる方。
- (7) プログラム終了後、大学等で帰国報告会など、参加成果の発表や広報が出来る方。
- (8) 20歳未満の方(2016年11月6日現在)は、応募申込・参加にあたり保護者の同意を得られる方。
- (9) 英語で日常生活においてどんな状況でも適切なコミュニケーションができる素地を備えている方（TOEIC：640点以上／TOEFL：500点（CBT173点、iBT61点）以上／IELTS 5.0以上／GTEC560点以上）、または現地語で支障なくコミュニケーションが出来る方。
- (10) 学部・専攻は問わない。

※以下に該当する方は応募対象外

青年海外協力隊、日系社会青年ボランティア、政府関連の海外訪問事業への参加経験

者。

4. 費用の負担（予定）

項目	参加者負担	JICA 負担
① 現地への派遣に関わる往復の航空賃（エコノミークラス）		○
② 自宅から出国空港までの往復国内交通費（事務局が定める規定による額の実費）		○
③ 査証取得料（必要な場合）		○
④ 予防接種料 ※破傷風、A型肝炎、狂犬病について2回の接種を推奨。1回目と2回目は間隔をあけて接種する必要があります。詳しくは派遣決定後にお送りする「渡航手続のご案内（仮称）」をご覧ください。	△ JICA 補助を超える部分の接種料	○ 破傷風、A型肝炎、狂犬病について、10,000円/1種/1回を上限に、2回まで補助
⑤ 空港税、空港使用料		○
⑥ 現地での公式日程での移動交通費		○
⑦ 旅行傷害保険	△ 事務局が付保する旅行傷害保険を上回る保険を希望する場合、その保険料	○ 事務局が一人当たり死亡保険金額3千万円の他必要と思われる旅行傷害保険を付保
⑧ 事前/事後研修に関わる往復国内交通費・宿泊費・食費	△ 事務局負担以上の個人的費用	○ 事務局が定める規定額の国内交通費・宿泊費・食費
⑨ 現地滞在費（宿泊費、食事代、その他個人的な物品購入、飲食などに関わる費用）	○ 目安：約8～10万円	△ フィールド滞在費
⑩ パスポート取得代	○	
⑪ その他（個人的な出費など）	○	

5. 募集定員

40名（1カ国20名）

6. 応募締切日

2016年11月6日（日）正午

7. 応募方法

以下の(2)に記載されている提出書類を揃え、**2016年11月6日(日)正午まで**に JICA の運営している**国際協力キャリア総合情報サイト「PARTNER」**(以下「PARTNER」という。)から応募してください。

(1)PARTNER への個人登録 (簡易登録可)

応募はすべて「PARTNER」経由で行います。応募にあたっては「PARTNER」に個人登録がなされていることが必須ですので、登録されていない方はまず「PARTNER」で個人登録を行ってください。「PARTNER」の個人登録は、国際協力人材登録又は簡易登録の2種類ありますが、本プログラムへの応募に関しては簡易登録で応募いただけます。

なお、国際協力人材登録要件である国際協力に関する実務経験や研究実績を有していないと判断される場合は簡易登録をお勧めします。

「PARTNER」の URL <http://partner.jica.go.jp/>

(2) 提出書類 :

① 応募申込書 (様式1) **EXCEL**

② 同意書 (様式2) **PDF**

注1: 本人署名欄は必ず本人が署名・捺印してください。

注2: 20歳未満(2016年11月6日現在)の方は保護者の同意が必要です。

注3: 保護者署名欄は必ず保護者が、署名・捺印してください。

③ 推薦状 (様式3) **PDF**

注3: 指導教官がいない方は、所属学部の教授等から推薦状を取り付けてください。推薦状が提出されない場合は、書類不備として失格になります。

※各様式は、JICA ホームページの 2016 年度大学生国際協力フィールドスタディプログラムのページ (http://www.jica.go.jp/partner/college/field_study.html) からダウンロードしてください。また、①は **EXCEL**、②と③は **PDF** で提出。(ファイル名は応募書類名と応募者氏名を必ず入力してください。例:【応募申込書】国際花子.xlsx)

(3) 応募

応募期間内に「PARTNER」の応募画面から応募書類を添付して応募してください。

① 以下のURLから「PARTNER」にアクセスし、画面右上の“ログイン”をクリックしてPARTNERにログインします。

「PARTNER」の URL <http://partner.jica.go.jp/>

② 画面上部にある“研修・セミナー情報”をクリックし、研修・セミナー情報を表示します。検索条件の研修・セミナー名で「大学生国際協力」等を入力して、検索して下さい。

③ 「2016年大学生国際協力フィールドスタディプログラム」の情報を開き、その後、「この案件に応募する」ボタンをクリックし、応募画面に、上記(2)の応募書類を添付して

ください。添付方法の詳細は、PARTNER活用方法の「3.2 WEB応募を利用する」をご参照ください。

(<http://partner.jica.go.jp/resource/1425033220000/UsagePsnOrg/ForUsers.pdf>)

8. 選考方法

応募申込書に記載漏れのない応募者の中から、応募資格、条件等を考慮して主催者が審査のうえ選出します。

9. 選考結果の通知

2016年11月中旬ごろに合否結果を文書（郵便）とメールにてご連絡します。合否結果は、アイ・シー・ネット株式会社よりご連絡します。

10. 注意事項

- (1) **必ず7の(2)に記載されている3つすべての書類の提出が必要**になります。
- (2) 提出書類に写真なし、署名なし、捺印なし等の不備がある場合も、失格になりますので、様式4_応募申込書チェックリストに沿って必ず書類を確認の上、提出ください。
- (3) 海外プログラム参加に際して在籍大学への届出等の手続きや指導教官の了承が必要な方は、各自でこれらを適確に完了した（または派遣までに適確に完了できることを確認の）うえでご参加下さい。
- (4) 合格以降のご連絡は主にメールと電話でおこないますので、応募申込書には随時連絡のつく携帯電話・固定電話、PCメール・携帯メールの両方を正確にご記載ください。
- (5) 参加者の大学名・氏名・学年などを公表する場合がありますので、予めご了承ください。
- (6) 応募にあたり、不正があった場合は、選出が無効となります。また、応募申込書に事実と異なる記載があった場合は、合格通知後であっても失格とします。
- (7) 派遣者として決定した方でも、他の参加者にご迷惑をかける方、決められた活動に参加頂けない方などは、当選を無効とさせて頂く場合や、現地プログラム途中でも参加を取り消し帰国頂く場合がございます。
- (8) 保険は付保しますが、既往症が原因で現地で発病した場合は支払われません。
- (9) 手続きや学習に関する連絡は基本的にメール等インターネット経由で行いますので、平素大きな支障なくアクセスできるIT環境が必要です。
- (10) レポートは成果品として製本し、推薦教授、JICA 研究所、JICA 国内拠点、連携協定締結大学に送付する予定です。
- (11) 辞退連絡とキャンセル料の負担について
合格後に自己都合により事前研修、現地プログラム、事後研修を中止、短縮、辞退する場合、速やかにアイ・シー・ネット株式会社までご連絡ください。また、キャ

ンセル料が発生した場合は負担いただく場合がありますので、ご了承ください。

※参加者が、運送・宿泊期間等の事故、火災、故意・過失・偶発による第三者行為災害、盗難により被害を被ったとき、または本人の故意・過失・偶発による損失・損害について主催者（事務受託者を含む）は責任を負いません。

※お寄せいただいた個人情報 は申込みおよび本プログラムの運営の用途にのみ使用致します。なお、応募申込書等応募書類の返却は行いませんので、予めご了承ください。

11. 応募・問合せ先

※本プログラムは JICA 主催、運営事務局はアイ・シー・ネット株式会社となり、
応募・問い合わせ先はアイ・シー・ネット株式会社となります。

・住所

〒330-6027

埼玉県さいたま市中央区新都心 11-2 明治安田さいたま新都心ビル 27 階

・問い合わせ先電話番号

Tel : 048-600-2514

・営業時間

平日 10:00～18:00、土日祝日休み

・問い合わせ先メールアドレス

E-mail : jicafieldstudy@icnet.co.jp

以上